

感情形容詞の使役表現

権裕羅

名古屋大学大学院国際言語文化研究科

kur1106@naver.com

1. はじめに

日本語には感情を表す語として感情形容詞と感情動詞がある。感情形容詞と感情動詞の中には「悲しい - 悲しむ」、「楽しい - 楽しむ」、「苦しい - 苦しむ」のように語根をとともにする形容詞と動詞が存在する。ある人を何らかの感情の状態にさせるという感情表現の使役は、[形容詞の連用形 + させる] (ex. 悲しくさせる) と [動詞の使役形] (ex. 悲しませる) のように表すことができる。また、時には [形容詞の連用形 + する] (ex. 悲しくする) も使われる。

ところで、[感情形容詞の使役形] ((形容詞)クスル/クサセル) と [感情動詞の使役形] は、必ず全部使えるわけではない。

- (1) 何気ない一言が太郎を{悲しくする／悲しくさせる／悲しませる}。 森(2004)の例を修正
- (2) …「人に必要とされたい」想いは、実は自分自身をどんどん{苦しめる／[?]苦しめる／*苦しませる}だけなのです。 (2017年5月18日)
- (3) 寺園家のみなさんやムサシさんはいつも心から楽しそうで、周りも{[?]楽しくして／楽しくさせて／*楽しませて}しまう方々。 <http://www.yukuri-utsuwa.net/cn17/kikaku2.html> (2017年6月12日)
- (4) 彼の突然の死は仲間を{*悲しくした/[?]悲しくさせた／悲しませた}。 大曾(2001)の例を修正

本研究では、(感情形容詞)クスル、(感情形容詞)クサセル、(感情動詞)セルが使われる条件を明らかにし、語根をとともにする感情形容詞と感情動詞の関係について考察することを目的とする。

2. 先行研究

1) 楊(1986)は、感情形容詞は、話し手自身の主観的感情・感覚を直接的に表しているため、主語が話者自身でなければ、用いられないとしている。このことは「ニスル」、「ニサセル」構文にもあてはまると記述している。

- (5) a. ?? 友人ノ死ガ太郎ヲ悲シクシタ。
- b. ?? 友人ノ死ガ太郎ヲ悲シクサセタ。
- c. 友人ノ死ガ太郎ヲ悲シマセタ。

しかし、ヲ格のところに来る語が話者自身ではなくても、「ニスル」、「ニサセル」構文が成立する文が見られる。

- (6) 何気ない一言が太郎を{悲しくする／悲しくさせる}。森(2004)

2) 大曾(2001)は、事物の一般的属性を規定する形容詞の使役的意味(人がある状態を引き起こす)は、例(7)、(8)のように「形容詞の連用形+する」で表せるが、感情形容詞の場合は例(9)、(10)のように「形容詞の連用形+する」で表すことができないと記している。例(9)、(10)は対応する動詞の使役形を使って表されることになることになると記述している。

- (7) 私は部屋を暗くした。
 (8) スカートを短くしてください。
 (9) *太郎の留学は母親を寂しくした。(→寂しがらせた)
 (10) *彼の突然の死は仲間を悲しくした。(→悲しませた)

使役的な意味において、感情形容詞は「する」と共起できないとしているが、「させる」とは共起できる場合があることを、例(11)、(12)で提示している。しかし、例(13a)のように、「させる」がどんな感情形容詞とでも使えるわけではないと記している。

- (11) 酒は今日も私を悲しくさせる。
 (12) みんなを楽しくさせるスタンダードジャズの格好の例だ。
 (13) a. ?? 今日一日、お年寄りを楽しくさせてあげてください。
 b. 今日一日、お年寄りを楽しませてあげてください。

大曾(2001)は、「感情形容詞の連用形+させる」が成立する場合があることを例文とともに提示しているが、その成立条件までは言及していない。

3) 金(2003)は、「XがYを(形容詞)くする/くさせる」構文で、XとYに有生物・無生物が来る場合を見ている。感情形容詞の場合は、例(14)、(15)のように、「させる」と共起し、Xには無生物(有)、Yには有生物が来るとしている。例(14)、(15)で「させる」が「する」になると、文の容認度がより落ちてしまうと記述している。

- (14) 県立高校の合格発表で大喜びする生徒たちを見て、思わず顔がほころんだ。たとえ知らない間柄でも、人が喜ぶ姿はこちらまでうれしくさせる(?うれしくする)。
 (15) 人を笑わせ、楽しくさせる(?楽しくする)ことがあなたに与えられた使命です。

4) 頼(2008)は、感情形容詞の使役形として「(形容詞)くさせる」形だけではなく、「(形容詞)くする」形も提示し、その誘因を記している。

「(感情形容詞)くさせる」は、例(16)、(17)のように、誰かあるいは何かが誘因になって、ある人物を何かの感情状態になるようにする表現であると記述している。一方、「(感情形容詞)くする」は、例(18)、(19)のように、誰かがある状態にならせるという表現であり、誘因は事柄であることが多いとしている。

(16) あの家出の日に、あれほど自分を寂しくさせた男なのに、それでも自分は拒否できず、幽かに笑って迎えるのでした。(大宰府『人間失格』)

(17) 大戸の取材に来たということを、森田が思いのほか喜んでいるらしいことが、私を心苦しくさせた。(沢木耕太郎『一瞬の夏』)

(18) 午後になって、日が何時もの角度に傾くと、この考えは兎を悲しくした。
(梶井基次郎『檸檬』)

(19) 旧友との再会は、かえって源氏の心を寂しくした。(田辺聖子『新源氏物語』)

「(形容詞)くさせる」と「(形容詞)くする」の違いを明らかにするためには誘因をもっと具体化する必要があると思われる。

5)権(2007)は、感情動詞の使役形を扱っている。使役主は無生物の場合も有情物の場合もあり、有情物であっても動作主ではなく、原因的行為を提供する役割であると記している。

(20) 僕は毎日(いたずらをして)ママを困らせています。

(21) その悩みが僕を深く落ち込ませる。

(22) ロボパロはペットのように、人を楽しませ、元気づけてくれる。

⇒ 「(感情形容詞)クスル」「(感情形容詞)クサセル」「(感情動詞)セル」の特徴を明らかにするためには、使役主と使役対象を見る必要があると思われる。先行研究では、使役主と使役対象が有情物・無情物かの記述がほとんどであるが、有情物・無情物の分類基準だけではそれぞれの使役形の特徴が分からない。そこで、本研究では、コーパスでX(使役主)とY(使役対象)に来る要素の特徴を見る。

3. 研究内容

◆ウェブ検索(YahooJapan) (2017年5月13日～6月17日)

◆対象語:「悲しい-悲しむ」、「楽しい-楽しむ」、「苦しい-苦しむ」

(悲しく{する/した/して/します}、悲しく{させる/させた/させて/させます}、悲しま{せる/せた/せて/せます}の場合に現れるX(使役主)とY(使役対象))

表1. X(使役主)とY(使役対象)の分類とその分布

X _ガ	Y _ヲ	悲しく	悲しく	悲しま	楽しく	楽しく	楽しま	苦しく	苦しく	苦しま
		する	させる	せる	する	させる	せる	する	させる	せる
内面	有	22(15.8)	23(10.3)	4(1.0)	2(0.4)	5(1.1)	4(1.7)	63(47.4)	79(26.8)	37(19.2)
	心	2(1.4)	1(0.4)	1(0.2)	2(0.4)	6(1.3)	0(0.0)	12(9.0)	23(7.8)	3(1.6)
	無(+h)	1(0.7)	1(0.4)	0(0.0)	12(2.7)	25(5.4)	0(0.0)	33(24.8)	12(4.1)	0(0.0)
有	有	19(13.7)	50(22.4)	265(63.0)	0(0.0)	30(6.4)	138(40.2)	1(0.8)	27(9.2)	96(49.7)
	心	3(2.2)	1(0.4)	1(0.2)	1(0.2)	4(0.9)	1(0.3)	1(0.8)	12(4.1)	1(0.5)
	無(+h)	0(0.0)	0(0.0)	2(0.5)	24(5.4)	16(3.4)	6(1.7)	0(0.0)	2(0.7)	0(0.0)
無 (+h)	有	52(37.4)	84(37.7)	143(34.0)	4(0.9)	29(6.2)	66(19.2)	8(6.0)	43(14.6)	48(24.9)
	心	13(9.4)	13(5.8)	2(0.5)	3(0.7)	5(1.1)	2(0.6)	2(1.5)	48(16.3)	0(0.0)
	無(+h)	1(0.7)	3(1.3)	0(0.0)	61(13.7)	28(6.0)	1(0.3)	3(2.3)	6(2.0)	4(2.1)
無	有	18(13.0)	43(19.3)	2(0.5)	0(0.0)	32(6.9)	101(29.4)	5(3.8)	12(4.1)	4(2.1)
	心	6(4.3)	4(1.8)	1(0.2)	1(0.2)	37(7.9)	0(0.0)	3(2.3)	30(10.2)	0(0.0)
	無(+h)	2(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	336(75.3)	250(53.5)	24(7.0)	2(1.5)	1(0.3)	0(0.0)
総		139(100.0)	223(100.0)	421(100.0)	446(100.0)	467(100.0)	343(100.0)	133(100.0)	295(100.0)	193(100.0)

1) 「(感情形容詞)クスル」: 「(Yの内面)ガ Yヲ (形容詞)クスル」の形が多かった。

(23) 「がんばらなければならない」という気持ちは自分を苦しくすることが多々あります。

http://www.wakuwaku-catch.jp/ouen_pj/message/1207.html (2017年5月18日)

2) 「(感情形容詞)クサセル」: 「(形容詞)クスル」、「(動詞)セル」と比べ、Xに人の意図(Yをある感情にならせよう)が感じられない「無情物」が現れることが多かった。

(24) しかも作れたときの達成感もありますし、折り紙の鮮やかな色は子どもを楽しくさせます。

<https://www.whistlingpastdixie.com/method/athome/> (2017年5月30日)

3) 「(感情動詞)セル」: 「(有情物)ガ Yヲ (動詞)セル」の形が多かった。

(25) 約300人の実行委員がそれぞれの企画に情熱を傾け皆さんを楽しませます。

<http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/events/2017/113n9m> (2017年6月16日)

参考文献

- 大曾美恵子. 2001. 「感情を表す動詞・形容詞に関する一考察」 『言語文化論集』 22(2): 21-30. / 金熹成. 2003. 『状態述語文の他動化と使役化』 筑波大学文芸言語研究科博士論文 / 権勝林. 2007. 「認識・感情動詞の使役文」 『日本語文学』 35: 37-55. / 森篤嗣. 2004. 「形容詞連用形に後接す大修館書店のスル-サセルの置換について」 『日本語教育』 120: 33-42. / 頼錦雀. 2008. 「日本語感情形容詞の使役表現についての一考察—中国語との対照分析—」 『台湾日本語学』 23: 43-64. / 楊凱榮. 1986. 「XガYヲZニスル」構文と「XガYヲZニサセル」構文との異同について: Zが形容詞の場合」 『言語学論叢』 5: 17-30.